

日本音楽ソフトの還流量調査報告書

～ アジア諸国へライセンスした日本の音楽ソフトの
わが国への還流量を推計する～

2003年11月

株式会社文化科学研究所

目次

. 日本音楽ソフトの還流量に関する調査	1
1. 調査計画実施内容	1
2. 調査結果の概要	3
(1) 日本音楽ソフトの還流量	3
(2) 調査結果の詳細	4
3. アジア諸国における日本音楽ソフト供給量の推移	5
(1) 原盤ライセンスの数量	5
(2) 原盤ライセンスの発売タイトル数	6
. 日本音楽ソフト還流量の将来予測	7
(1) 将来予測の目的と前提	7
(2) 予測される将来の還流量	8

.日本音楽ソフトの還流量に関する調査

1.調査計画実施内容

調査目的

日本のレコード会社がアジア諸国に原盤ライセンスし、現地で製造され、わが国に輸入された日本音楽ソフトの取り扱い量が最も大きいディスカウントストア及びホームセンターの取り扱い率及び陳列枚数を測定し、日本市場への還流量を推計した(なお取り扱い店舗としては、その他スーパー/デパートや家電量販店、中古CD店等があるので、全店舗ではこの結果を上回る)

調査方法

(社)日本レコード協会の全国調査室の室長を調査員として、指定された店舗を訪問し、店頭観察による方法を採用した

調査対象店舗の抽出と推計方法

ディスカウントストアについては、NTTタウンページに掲載されている4,441店から1/20の確率で222店舗を無作為に抽出した。ホームセンターについては日本DIY協会名簿掲載の4,356店舗から1/10の確率で436店舗を無作為に抽出した。2業態全体の推計については、本調査結果をこの層化抽出法による抽出率を踏まえた計算を実施した。又、本調査結果による推定値の精度を示すために信頼度95%とした標本誤差を加味した区間推定値を求めた

調査期間

2003年10月3日から10月31日

調査対象店舗の地域別分布

	ディスカウントストア		ホームセンター		合計	
	調査店数	総店舗数	調査店数	総店舗数	調査店数	総店舗数
北海道	10	209	17	99	27	308
東北	13	260	71	436	84	696
関東	88	1,779	100	629	188	2,408
甲信越	13	242	44	254	57	496
東海	17	348	44	266	61	614
近畿	39	780	55	339	94	1,119
中国	9	182	46	284	55	466
四国	7	120	15	94	22	214
九州(沖縄含)	26	521	44	269	70	790
計	222	4,441	436	2,670	658	7,111

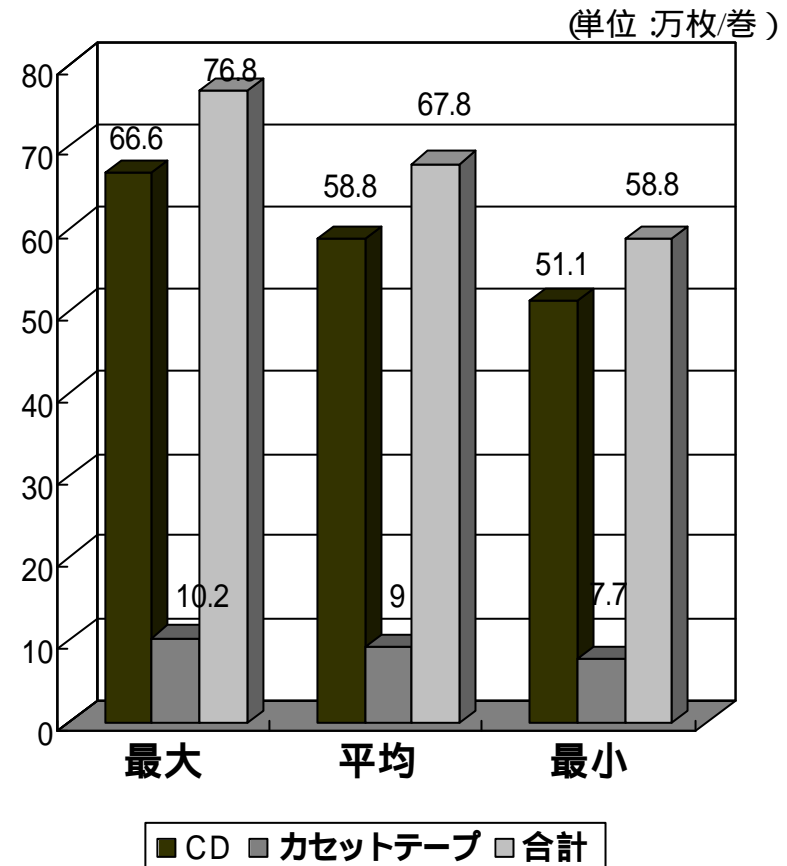
単位:店

2.調査結果の概要

(1)日本音楽ソフトの還流量

ディスカウントストア及びホームセンターにおける日本音楽ソフトの還流量は平均値でCD=58.8万枚、カセットテープ=9万巻の合計67.8万枚/巻に達すると見込まれる
還流量率(還流量/ライセンス量)はCD17.8%、カセットテープ6.6%、平均14.6%となる》

標本誤差を加味すると、わが国へ還流する日本音楽ソフトの数量は、CDとカセットテープ併せて、この2業態店舗だけでも58.8万枚/巻から76.8万枚/巻の間にあると云える



② 調査結果の詳細

本調査の結果は下表の通り

	総店舗数	標本数	取扱い率 (%)	1店舗平均 CD陳列数(枚)	1店舗平均 カセット陳列数(枚)	在庫回転率 (回)
ディスカウントストア	4,441	222	22.1	149.76	21.80	3.5
ホームセンター	4,356	436	9.2	53.45	10.55	3.5

本調査結果に基づき2業態店舗のCDとカセットテープの販売量を推定する

推計式 総店舗数 × 取扱い率 × 1店平均陳列量 × 在庫回転率 = 総販売量

注)本来ならば、1店平均陳列量には総在庫量を用いて計算することが正しいが、本調査では倉庫在庫量が測定されていないので店頭陳列量データとした。又、在庫回転率は、わが国のCD販売店の平均的な数値を用いた。

ディスカウントストア

CD 4,441店 × 22.1% × 149.76枚 × 3.5回転 = 514,443枚

カセットテープ 4,441店 × 22.1% × 21.80巻 × 3.5回転 = 74,885巻

ホームセンター

CD 4,356店 × 9.2% × 53.45枚 × 3.5回転 = 74,971枚

カセットテープ 4,356店 × 9.2% × 10.55巻 × 3.5回転 = 14,798巻

合計販売枚数

679,097枚/巻

標本調査による誤差を信頼度95%においた時の合計販売枚数の区間推定値

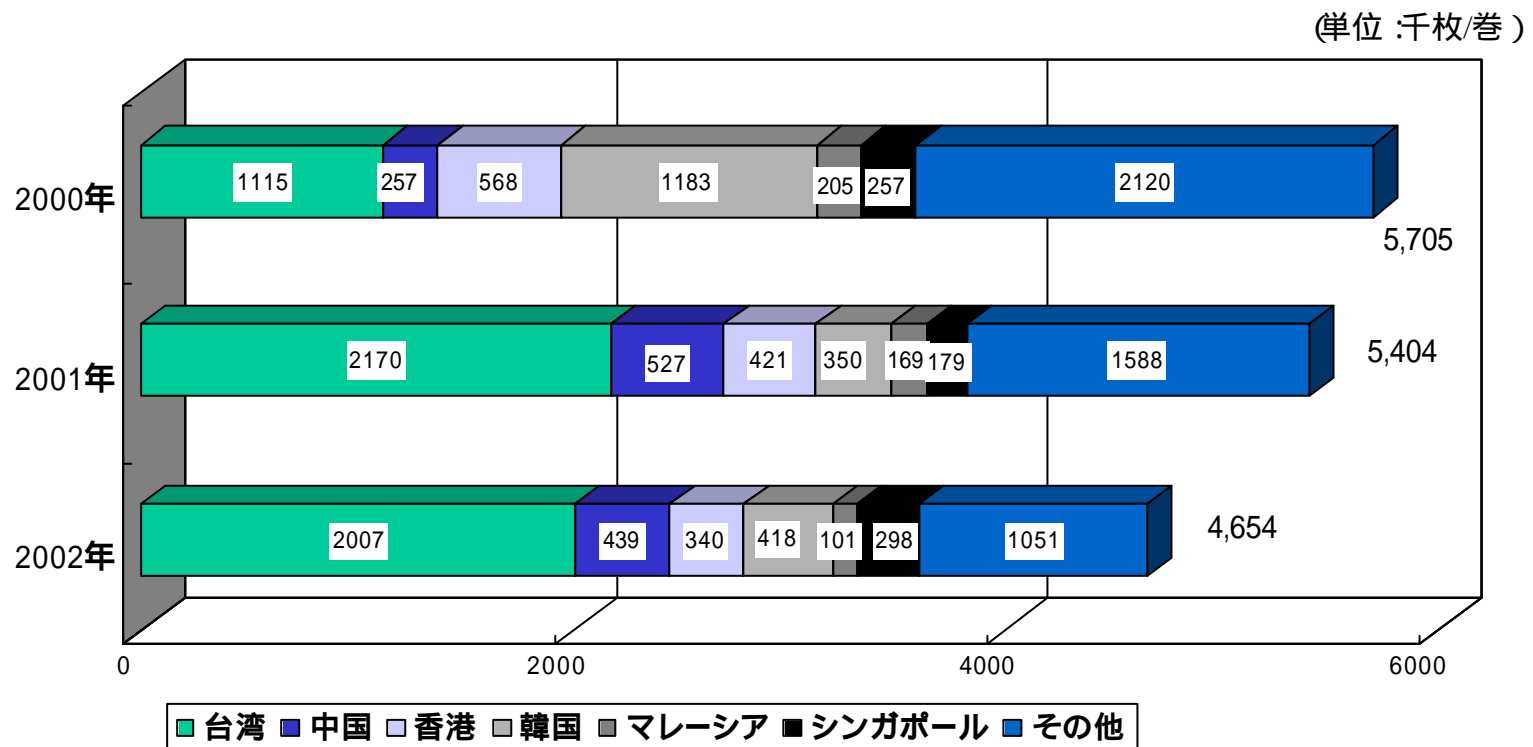
CD = 510,804枚 ~ 666,270枚

カセットテープ = 77,116巻 ~ 101,951巻

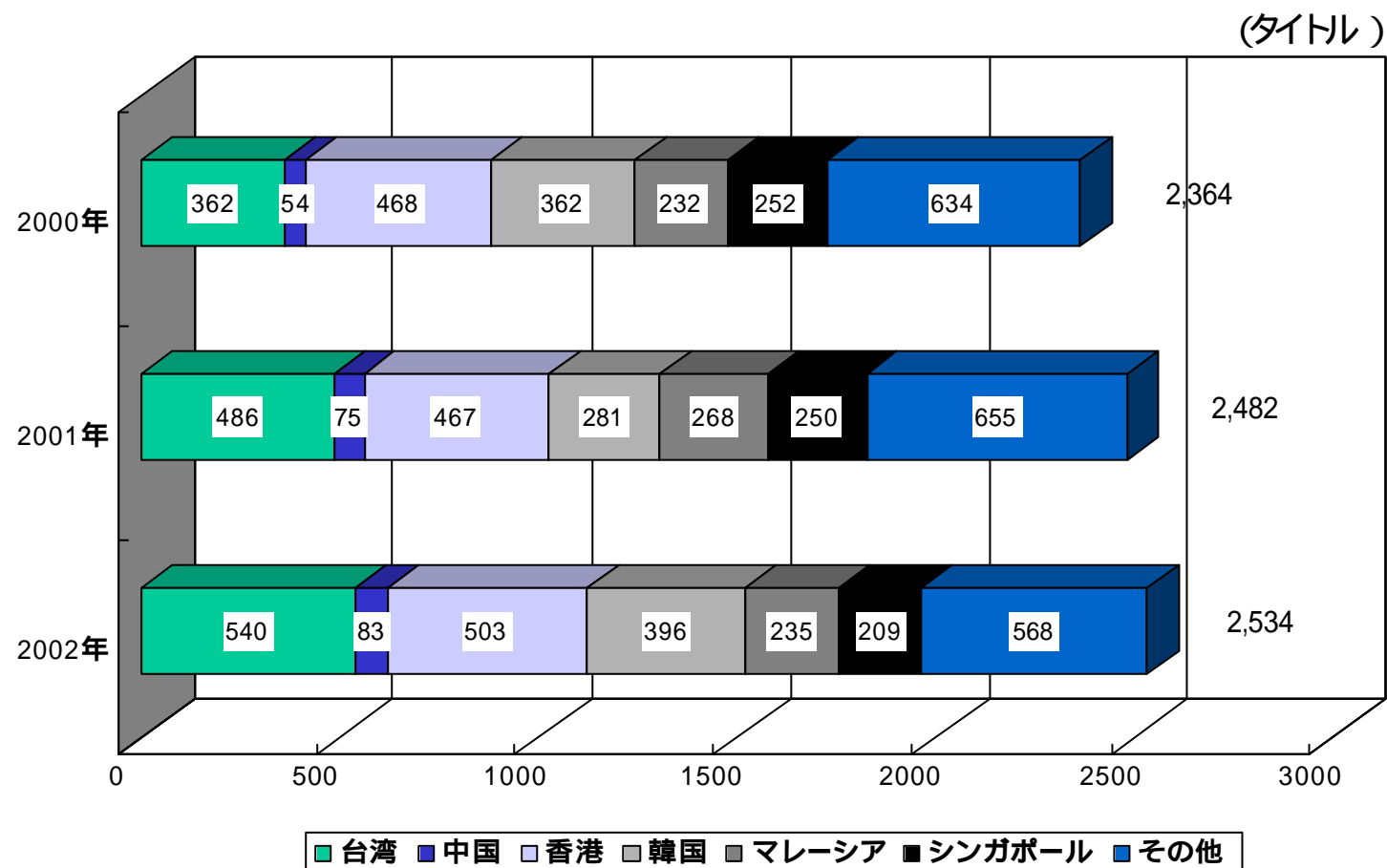
合計販売枚数 587,920枚/巻 ~ 768,220枚/巻

3. アジア諸国における日本音楽ソフトの供給量の推移

(1) 原盤ライセンスの数量 (CD + カセット)



(2) 原盤ライセンスの発売タイトル数



.日本音楽ソフト還流量の将来予測

(1) 将来予測の目的と前提

1) 目的

アジア諸国における日本音楽ソフトのライセンス盤(正規版)の日本市場への還流量の現状から、将来予測される需要に対応したライセンス盤の日本市場への還流量を推計することを目的とした。

2) 予測の前提

現状の還流状況については、2003年10月に(社)日本レコード協会が実施した主要還流ソフト取扱い見込み店舗を対象とした観察調査データを用いた。調査対象店舗業態の選定には2000年9月調査結果を参考とした。

将来需要に対する見通しについては、(株)三菱総合研究所が実施した「アジアにおける日本音楽ソフトの需要予測」報告書の2007年及び2012年データを用いた。

アジア諸国に対するライセンス量については、(社)日本レコード協会加盟各社の実績値を用いた。

(2) 予測される将来の還流量

アジア諸国に対する日本音楽ソフトのライセンス供与による正規版の市場規模は2002年の約465万枚/巻から、2007年には3倍の約1,623万枚/巻へ、2012年には14倍の7,091万枚/巻程度に成長することが見込まれている

この成長が実現し、わが国に還流する割合が2003年並みに推移すると、2007年には244万枚/巻以上、2012年には1,265万枚/巻以上が、わが国へ還流することになる

